

4/29

都留戸沢の森 和みの里

オープン 種徳館、和産館



移築前の種徳館

種徳館とは・・・

都留市境に現存した明治20年代の建築物で、品川沖のお台場(砲台)建設の際に活躍した天野海蔵氏が建築した和洋折衷の擬洋風建築物。天野家の蔵であるが、公共的な使われ方をしており公民館的なものであったと思われる。

昨年、天野海蔵氏の子孫天野保弘氏から寄付を受け、境から戸沢に解体・移築を行った。

都留戸沢の森 和みの里に体験交流施設「種徳館」、加工体験施設「和産館」が4月29日(土)にオープンします。

戸沢の森 和みの里は、市内に点在する地域資源を活用した「参加・学習・体験都市都留」構想を実現するための8つの交流拠点エリアのひとつで、日本花の百名山に選定された二十六夜山のふもと、7ヘクタールの広大な自然を生かし、農と食と温泉による「和み(なごみ)」の空間を創出したものです。

また、このエリアには、温泉「芭蕉 月待ちの湯」をはじめ、和風コテージ「二位の宿」、「ゆうゆう広場」、「わくわく広場」もあります。

澄みきった空気と溪流のせせらぎ、野鳥のさえずりに囲まれた和みの空間で、思いっきり遊んで、食べて、安らぎを感じてください。